

JAC AWARD 2023 ベストプラクティス部門 グランプリ

西澤 賢弥さん(田窪)
Kenya Nishizawa

キラリ東温この人なう No.111

地域で輝く人にインタビュー

若手映像クリエイターを表彰するJAC AWARD 2023のベストプラクティス部門でグランプリを受賞した西澤賢弥さん(27)。現在は東京で活躍する西澤さんだが、幼少期は東温市で過ごした。「大人しい性格で、友達と遊ぶよりも映画館で映画を見ていました。両親が共働きだったこともあり、時間潰しできさまざまな映画を見て、映像に興味を持ちました」。転機は大学4年生のとき。クリエイターの人たちと会って刺激を受け、1人で映画制作を始めた。「初めは監督志望でした。映像を面白くするのが監督、ビジネスとして成功させるのがプロデューサーの役目だと思っています。人脈ややり方のノウハウはずっと活かせると思います、今はプロデューサーをしています」。2023年、東温市のプロモーション動画にチーフプロデューサーとして制作に携わった。自身にとって「特別なもの」と話す本作品。「グランプリを取ることで、東温市からでもできるということを証明できた。子どもたちにも勇気を与えられたらと思います」

編集後記

高みを目指す人にスポットを当てました。目標に向かって日々努力する姿は、とても輝いています。結果を出すまでの過程にさまざまなドラマがありました。(相澤)

東温高校男子ハンドボール部は、家族のような仲の良さが垣間見え、良いチームだなと感じました。全国大会も頑張ってください！(戒能)

「今日で平日イベントに参加するのが最後です」と就園予定の保護者が声を掛けてくれました。時の流れを感じ、そんな話ができる関係を築けたことが嬉しかったです。(和田)

目次 Contents

02_特集 全国の舞台に挑む/06_PICK UP 少年の日/08_スイッチとうおん/14_スイッチとうおん特別版/16_子育てガイド/18_ふれあい広場/22_情報BOX/26_暮らしと健康のカレンダー/28_キラリ東温この人なう